

News Release



令和8年1月19日

各報道機関文教担当記者 様

観光 DX の実践事例を共有し、観光科学の新たな可能性を探る 第7回シンポジウム「北陸観光 DX による MDASH 教育の深化」を開催

金沢大学数理・データサイエンス・AI 教育センターは、経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局と共に、数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム北信越ブロック第7回シンポジウム「北陸観光 DX による MDASH* 教育の深化」を開催します。

本シンポジウムでは、金沢大学融合学域観光デザイン学類と先端観光科学研究所を中心となり進めてきた「文理融合データ駆動型観光科学教育によるイノベーション創出の展開と普及」事業の取り組みを紹介します。本事業は4年目を迎え、今年度初めて観光デザイン学類から卒業者を輩出する節目の年となります。これまでの教育・研究の取り組みを振り返るとともに、北陸地域の産学官が連携して推進する「北陸未来共創フォーラム」における観光 DX の実践事例を共有し、観光科学の新たな可能性を探ります。

本シンポジウムを通じて、データサイエンスと観光科学の融合によるイノベーションの展開を広く発信し、地域社会と未来を共創するための知見を深めます。

つきましては、取材・報道をよろしくお願いします。

(*MDASH とは Mathematics, Data Science, and AI Smart Higher Education の略)

開催日時：令和8年1月30日（金）13：00～16：00

会 場：金沢市文化ホール大集会室2階（金沢市高岡町15-1）

※ハイブリッド形式（会場50名、オンライン300名）

対 象：高等教育機関教職員および一般企業・支援機関など

内 容：詳細は別添のチラシをご覧ください。

主 催：金沢大学 数理・データサイエンス・AI 教育センター／

融合学域観光デザイン学類／先端観光科学研究所

※本シンポジウムの詳細は、数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム北信越ブロック Web サイトの特設ページからもご覧いただけます。

https://ku-data.w3.kanazawa-u.ac.jp/events_20260130/

<取材に関してのお願い>

当日の取材を希望する場合は、別紙「取材申込書」を1月26日（月）15時までに本件照会先まで提出してください。

【本件照会先】

金沢大学学務部学務課 金谷

TEL：076-264-6071

FAX：076-234-4040

E-mail : ku-data@adm.kanazawa-u.ac.jp

シンポジウム当日連絡先：090-1632-7253



日 時

2026.1.30 [金]

13:00-16:00



参加費無料／要事前申込

形 式 対面とZoom（オンライン会議300名）
によるハイブリッド開催

会 場 金沢市文化ホール大集会室（2階）（先着順50名）

北陸観光DXによる MDASH教育の深化

※MDASHとは“Mathematics, Data Science, and AI Smart Higher Education”的略

本シンポジウムでは、金沢大学融合学域観光デザイン学類と先端観光科学研究所を中心となり進めてきた「文理融合データ駆動型観光科学教育によるイノベーション創出の展開と普及」事業の取組を紹介します。本事業は4年目を迎え、今年度初めて観光デザイン学類から卒業者を輩出する節目の年となります。これまでの教育・研究の取組を振り返るとともに、北陸地域の産学官が連携して推進する「北陸未来共創フォーラム」における観光DXの実践事例を共有し、観光科学の新たな可能性を探ります。

本シンポジウムを通じて、データサイエンスと観光科学の融合によるイノベーションの展開を広く発信し、地域社会と未来を共創するための知見を深めます。



主催：北信越ブロック代表校 金沢大学数理・データサイエンス・AI教育センター／融合学域観光デザイン学類
／先端観光科学研究所

共催：数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム／北陸未来共創フォーラム観光分科会
／経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

申込方法

以下の申込フォームより申込期限までにお申込みください。定員に達し次第締め切ります。オンライン会議参加者には、後日、接続情報を送付いたします。

【申込期限】

2026年1月26日(月) 17:00

[https://ku-data.w3.kanazawa-u.ac.jp/
formapp/form/hokushinetsu07.php](https://ku-data.w3.kanazawa-u.ac.jp/formapp/form/hokushinetsu07.php)



※個人情報は、本シンポジウムの運営目的以外には使用いたしません。

Program

12:30	受付開始	
13:00	開会挨拶	森本 章治 金沢大学理事(総括・大学改革・教育・情報担当)／副学長
13:05	基調講演1	「大学等における数理・データサイエンス・AI教育の推進について」 今川 新悟 氏 文部科学省高等教育局専門教育課・専門官
13:20	基調講演2	「地域におけるデジタル人材育成やDX等に関する支援について」 上野 拓実 氏 経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局地域経済産業課・総括係長
13:35	趣旨説明	「金沢大学の数理・データサイエンス・AI教育の取組」 谷内 通 金沢大学数理・データサイエンス・AI教育センター長／人間社会研究域人文学系・教授
第一部 テーマ：文理融合データ駆動型観光科学教育の実践		司会：米田 隆 (先端観光科学研究所長／融合研究域融合科学系・教授)
13:40	講 演	「文理融合データ駆動型観光科学教育の展開」 佐無田 光 金沢大学融合学域観光デザイン学類長／融合研究域融合科学系・教授
13:55	事例紹介1	「観光DXを実装する人材育成：ビジネスプラン教育の事例紹介」 丸谷 耕太 金沢大学融合研究域融合科学系・准教授
14:10	事例紹介2	「データサイエンスと観光科学に基づく教育・研究の事例紹介」 森崎 裕磨 金沢大学融合研究域融合科学系・助教
14:25	質 疑	
14:35	休 憩	
第二部 テーマ：北陸未来共創フォーラムを通じた観光DX推進の取組紹介		司会：今 洋佑 (金沢大学先端観光科学研究所・特任准教授)
14:45	講 演	「観光DX推進を通じた北陸3県の観光振興とデータ教育との融合にむけて」 今 洋佑 金沢大学先端観光科学研究所・特任准教授
15:00	事例紹介1	「FTAS(DMP)構築とAIを活用した観光事業者支援について」 佐竹 正範 氏 福井県観光連盟観光地域づくりマネージャー
15:15	事例紹介2	「Milliを活用した石川県の観光DX」 羽生田 文登 氏 石川県デジタル推進監室データアナリスト／一般社団法人Code for Noto代表理事
15:30	事例紹介3	「TOYTOSを中心とした富山県における取組」 北野 駿佑 氏 公益社団法人とやま観光推進機構主事
15:45	総合質疑	
15:55	閉会挨拶	飯山 宏一 金沢大学融合研究域長／融合研究域融合科学系・教授
16:00	閉 会	

数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム
北信越ブロック 第7回シンポジウム [ブロック代表校 金沢大学]

北陸観光DXによるMDASH教育の深化

会場 金沢市文化ホール大集会室(2階)
石川県金沢市高岡町15番1号

●お問い合わせ：金沢大学数理・データサイエンス・AI教育センター
Email: ku-data@adm.kanazawa-u.ac.jp



数理・データサイエンス・AI
教育強化拠点コンソーシアム



新しい発見、新しい結合、新しい価値。
北陸未来共創フォーラム
産学官金プラットフォーム for Innovation challenge

取材を希望する場合は、本申込書を

1月26日（月）15時までに

下記の宛先へ送付願います。

担当者：金沢大学学務部学務課 金谷

E-mail : ku-data@adm.kanazawa-u.ac.jp

FAX : 076-234-4040

別紙

申込日：令和8年 月 日

**数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム北信越ブロック
第7回シンポジウム「北陸観光DXによるMDASH教育の深化」を開催**

取材申込書

報道機関名 : _____

取材記者氏名 : _____ 様

連絡先 : _____

※当日、連絡が取れる番号を記載してください。

同行者(カメラマン等) : _____ 名 (上記記者除く)

カメラ等の内訳(台数) : _____
(例 テレビカメラ 1台)

到着予定時間 : _____

日 時：令和8年1月30日（金）13:00～16:00

受付場所：金沢市文化ホール大集会室

<取材に関してのお願い>

- ① 受付の際は名刺等をご提示願います。
- ② 取材の際は、自社腕章を必ず着用の上、担当者の指示に従ってください。